

お手入れのしかた

※お手入れ前に必ず電源プラグを抜いてください。
※カーペット本体やカーペットカバーは、丸洗いやドライクリーニングはできません。
※アルコール・シンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。

カーペット本体・カーペットカバー

- ・コントローラー・コードの汚れは、水やうすめた中性洗剤をやわらかい布にふくませ、よくしぼってからふきとってください。
- ・表面のほこりやごみは、電気掃除機でていねいに吸いとってください。

- ・汚れがついたときは、次の手順でお手入れしてください。
 1. すぐにティッシュペーパーなどでふいてください。
 2. むるま湯でうすめた中性洗剤（食器用）を布やスポンジにふくませ、しぼってから汚れをふきとってください。
 3. ティッシュペーパーで洗剤と汚れをよく吸いとってください。
 4. 布に水やぬるま湯をふくませ、しぼってから洗剤が残らないようによくふきとり、自然乾燥してください。

△注意

コントローラーをぬらさないでください。
・過熱・故障の原因となります。
・水まわり（キッチンやトイレ等）には使用できません。

■中性洗剤の量は汚れの程度によって加減してください。

■市販のカーペットクリーナーもご使用になれます。

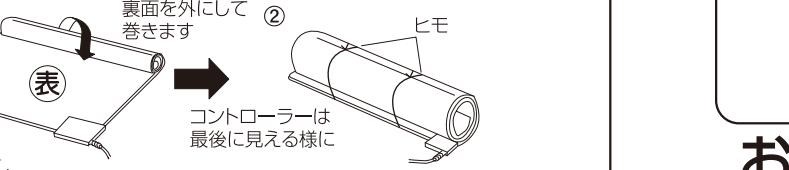
■お手入れ後や水をこぼしたときは、表面・裏面とも十分に日陰干してください。

■色のついた飲物（コーヒー、紅茶、コーラ、緑茶等）が裏面からしみ込みますと、電線に沿う形で、カーペットが黒褐色に変色する場合がございますので、ご注意願います。

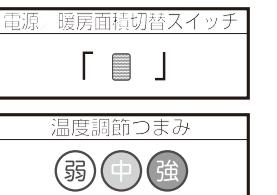
ダニ退治のしかた

■通電中、ダニは熱と乾燥に弱いためほとんど生息できませんが、特にダニを気にされる方は次の方法でダニ退治してください。
(夏にカーペットとして敷いたまま使われるときも、下記の方法でダニ退治をしてください。)

1. カーペット本体を巻きます。
(折りたたまないでください。)



2. 電源／暖房面積切替スイッチを「●全面」・温度調節つまみを「強」に合わせてください。



3. 2時間～3時間通電した後、電源／暖房面積切替スイッチを切にしてください。

4. 通電後は、電気掃除機で吸いとってください。
・カーペットの周縁部は、温度が低くダニが死なない場合もあるため、ていねいに吸いとってください。
・ダニの死がいもせんそくなどの原因になりますので、ていねいに吸いとってください。

知っておいていただきたいこと

一般事項

- 使いはじめには折りじわが目立ちますが、ご使用にともない目立たなくなります。また、少しオイガすることがあります。ご使用にともない消えます。（但し、PP木目調のものは表皮の特質上、折りじわは取れませんが、機能上の問題はありません。）
- 使用中にカーペット本体やカバーがずれたり、部分的にしわになったり、もり上がりや重ね合わせた状態になった場合は平らにします。市販のズレ防止フレーなどが効果的です。そのまま、継続使用されますと、しわになった部分の電線が局部的に高温になり損傷を受け、火災の原因となりますので、時々カバーをめくるべくしてください。
- カーペット本体やカバーの折りせが取れない場合は、布団などでカーペット全体を覆って通電してください。約6～12時間で、折りせが目立にくくなります。

■使用中、コントローラーが暖かになりますが、故障ではありません。コントローラーをクッション等保温性の良いもので覆われますとコントローラー内部が高温になるため、電源ランプが点滅して電力を止めます。コントローラーが冷めてから電源を入れ直してください。

■コントローラーの近くで超短波の電気治療器や強い電界を出す無線機を使用しないでください。

■延長コードを使用するときは、・さし込み口にがたつきがないこと。・定格1500W(15A)以上の延長コードであること。

■毛足のある一般的なカーペットの上で使用するときは、・パイル（毛足）の屈伸作用で、カーペット本体が盛り上がり移動するときは、カーペット本体の下に、毛布や市販のずれ防止シートなどを敷くと移動しにくくなります。

■新しい畳の上の使い方になると、カーペット本体の下の畠が変色することがあります。

■電源ランプが点滅している際は一度「切」にして3秒以上間を空けて電源を入れ直してください。電源を入れ直しても電源ランプが点滅する場合には、お買上げの販売店に点検、修理をご依頼ください。

これは、青畠が直射日光で変色するのと同じ現象ですが、カーペット本体の下に市販の断熱シートなどを敷くと軽減できます。

■電源ランプが点滅している際は一度「切」にして3秒以上間を空けて電源を入れ直してください。電源を入れ直しても電源ランプが点滅する場合には、お買上げの販売店に点検、修理をご依頼ください。

当社はこのホットカーペットの補修用性能部品を製造打ち後最低6年間保有しております。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するため必要な部品です。カーペット本体は防水性や安全性確保のため交換修理（有料）となります。

くわしくは保証書をご覧ください。

△注意

コントローラーをぬらさないでください。

・過熱・故障の原因となります。

・水まわり（キッチンやトイレ等）には使用できません。

次のような場合には

■次のような異常があったり、状態になったときはただちに使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

使用前に次のような異常があったとき

■コードの損傷。（被覆のすりきれ・ひび割れ）

・特に電源コードやコントローラーの付け根部分を確認してください。また、プラグにガタつきがないか確認してください。

■コントローラーの破損や変形（溶融や変色・割れなど）。

■カーペット本体が破れたり、すりきれているとき。

・内部が露出してヒーター線が見えるとき。

■カーペット本体の表面が熱により部分的に変色しているとき。

■ヒーター線が重なりあっているとき。

■本体を折りたたむ時にヒーター線が硬化して折れる音がする。

■本体に強くしづかが入っている。

使用中に次のような状態になったとき

■温度調節つまみを（弱）にしてもカーペット本体が異常に熱いとき。

■ときどき暖かくならないとき。

■さし込みプラグやコンセント、コントローラーが異常に熱くなりすぎるとき。

■コントローラーに

・水やお茶などをこぼしたとき。

・強い衝撃をあたえたとき。

■取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点があるとき。

■半面が暖かくなかったとき。

■運転中に異常な音やけげ臭いにおいがしたとき。

お手入れと保管のしかた

1. 保管前の手入れ

・食物のカスや汁などが付着したままで、保管中にカビや虫が発生する原因になりますのでよく取り除いてください。

2. 湿気の除去（必ず広げた状態で）

・カーペットカバーを掛けたまま、電源／面積切替スイッチを「●全面」・温度調節つまみを（強）に合わせて約3時間通電した後、よくさましてください。

3. 裏面を内側にし、図の順序で折りたたんでください。

・カーペット本体およびカーペットカバーは、お買上げ時の箱に入れ湿気の少ない場所に保管してください。

<9折り>

① コントローラー

② コントローラー

③ コントローラー

④ コントローラー

⑤ コントローラー

安全上のご注意

★ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
★ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」・「警告」・「注意」の3つに区分しています。

- △危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
- △警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- △注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

<記号の意味>
△記号は、危険・警告・注意を促す内容を表わしています。(図の中に具体的な注意内容が描かれています。)
○記号は、行為の禁止を表わしています。(図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。)
●記号は、行為の強制や指示の内容を表わしています。(図の中に具体的な指示内容が描かれています。)

★お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

危険

低温やけどや脱水症状をおこす恐れがありますので
次の様な方がご使用の場合には、特に注意してください。
●乳幼児、自分で温度調節出来ない方、
皮膚感覚の弱い方等。

警告

低温やけどのおそれがありますので、次のような方がご使用になるときは
使用温度を低めにし、使用状態に異常がないか常に周囲の方が注意して
ください。また、ときどき体を動かすなど注意して使用してください。
●お子様、お年寄り、ご病人、身体の不自由な方、皮膚の弱い方。
●深酒された方や、疲労の激しい方。
●眠気をさそう葉(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方。

低温やけどについて

普通のやけどは、火や熱湯などの高温なものに皮膚が触れておこりますが、40°C～60°Cの比較的低い温度においても皮膚の同じところが長時間触れていると、赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。
※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

- 感電やショートして発火することがあります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントのさし込み口がゆるいときは使用しないでください。又、コンセントのさし込み口の所には、ほこりやごみ等がある時は、必ず取り除いてください。

- 感電・ショート・発火の原因となります。

禁 止

電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを乗せる・挿み込む・高温部に近づけたりホットカーペットの下を通すなどしないでください。

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁 止

船舶の電源や発動発電機、交流200V、直流電源などを交流100V以外では使用しないでください。
また海外では絶対に使用しないでください。

- 火災・感電の原因となります。

禁 止

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。

- ホットカーペットやコントローラーをいため、発煙・発火・故障の原因となります。

禁 止

分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

- 電気容量がオーバーすることがあり、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

禁 止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

禁 止

針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけないでください。

- ヒーター線をいため、感電や故障の原因となります。

禁 止

電源プラグを抜く

ベンジン・灯油・スプレー缶・カセット用ガスボンベなどをホットカーペットの上や近くに置かないでください。
●爆発・火災の原因となります。

- 電熱器具やガスコンロが過熱したり、熱でホットカーペットをいため発火の原因となります。

●過熱・故障の原因となります。※ペット等の尿は絶対にただちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

- 暖房器具の熱をコントローラーおよび本体に当てないでください。熱でコントローラーおよび本体が変形し故障や事故の原因となります。

●ホットカーペットやコードをいため火災の原因となります。
※コントローラーに尿等は絶対にかけないように注意してください。

禁 止

1m以上離す

禁 止

座布団など保温性のよいものを長時間置いたり、タンス・ピアノなど重いものをコントローラーやカーペット本体の上に載せないでください。長期的に置かれるとヒーター線が経年劣化する恐れがあります。(局部過熱)ヒーター線の劣化が著しくなりますと、ヒーター線が硬化して折れやすくなり、発煙・発火の原因となります。

- 部分的に温度が高くなり、電線をいため発火、火災の原因となります。また、異常動作してやけどをする恐れがあります。

●巻いたり折りたんだままで使用すると、カーペット本体を曲げたり、重ね合わせた状態で使わない。

- 部分的に保温した状態で長時間使用されますと、カーペット本体が電線に沿って変色し、故障や床面(畳、フローリング等)の変色・変形の原因となります。

●コントローラーが保温状態により高温になると電源ランプが点滅し通電をストップします。

禁 止

禁 止

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。

- ホットカーペットやコントローラーをいため、発煙・発火・故障の原因となります。

禁 止

コントローラー部を引っ張ったり、持ち上げて床に落とすなど衝撃を加えないでください。

コントローラー部を踏まないでください。

- 火災・感電の原因となります。

禁 止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

禁 止

針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけないでください。

- ヒーター線をいため、感電や故障の原因となります。

禁 止

電源プラグを抜く

アイロン台として使ったり、熱いやかん・電熱器具(ホットプレートやトースターなど)やガスコンロなどを上に置いて使用したり、ストーブを近くや上で使用しないでください。

- 爆発・火災の原因となります。

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止

禁 止